

古屋拉致問題担当大臣記者会見要旨

日時：平成25年5月10日（金） 8:41～8:44

場所：院内閣議室前

1. 発言要旨

おはようございます。

閣議がございました。特に報告することはありません。

以上です。

2. 質疑応答

（問）NHKですけれども、中国の銀行は、アメリカの制裁に同調するように、制裁をやっているとの情報があるのですが、そのことについては。

（答）そういう情報は、承知いたしております。昨日ですかね、官房長官も会見している。そういう対応をしているということならば、それは我々も大いに歓迎をしたいというふうに思いますね。私たちの考え方は基本的に、厳しい制裁を加えることによって北朝鮮の態度を変えさせて、交渉の土俵にのせるというのが基本戦略ですから、評価したいと思いません。

（問）共同通信ですけれども、今日から災害対策基本法と大規模の復興法案の審議、災対特での審議、始まりますけれども、大きな争点、昨日の話を聞いていると、それほどないと思いますが、何月中の成立を目指したいというお考えとかありますか。

（答）昨日も本会議で私、54も答えたんだよね。これは基本的に与野党対決する法案じゃないですよ。昨年、第一弾の改正がありましたよね。まだ不十分なところをフォローアップしていくということですから、基本的に皆さん同じような方向に向いている。原点はやはり災害の現場の対応がいかにスムーズにできるかということ、そして、そのために国がいかに適切に関与していくかということですね。だから、そういう趣旨にのっかってこの法律を改正していますので、おそらく2日間ぐらいやるのかな、まだ決まっていないの。皆さん、大いに御議論いただいて、速やかに賛同していただきたいなど、そんな気持ちであります。

（問）朝鮮総連のビルの跡地の問題というか、鹿児島島の池口恵観法主、あれの件は何か御報告とか受けていますか。

（答）聞いていますよ、大体。

（問）聞いていますか。

（答）はい。今日、多分午後には。

（問）会見。

（答）断念の会見をされるということですよ。どうするのですかね、5億4,000万円没収ですよ。でも、そういう形に落ちついたということは、我々も冷静に見ています。

（問）朝日新聞です。

ちょっと話が脇へずれるのですが、人民日報が沖縄の領有権を、何というか、ちょっと考えられないような論文を掲載されています。このことについて、大臣御自身としては、どのように。

(答) 今始まった話じゃないですからね。まあ、そういうことです。

(以 上)